



こんな
理不尽

なことがあるんだ、のショック。

被害者の理不尽な状況は変わらない。たとえ

法律

が整っても。

『まさか

自分がこんなことに』ってみなさん言われる。

『やってあげてる』なんて思っていないし、

こんな自分でよいのか、
この支援でよかったのか、
ずっと考えている。

長い人生の

ほんとどこピンポイント

の支援。

同じ視点

にたって、ちょっとだけ道筋をつけるお手伝いを。

ありがとうって言われたら
逆に大丈夫やったかな
？って思う。

気をつかせてしまっている？そんな状況じゃないのに。

支援センターだけでなく警察や弁護士、いろんな人が支えてくれて、信じてくれることがわかったから

「これから生きていけます」

って。

それは強い言葉だと思った。

「犯罪被害者」に寄り添う、こんな人たちがいます。

～ひょうご被害者支援センター～

みなさまの寄附により
より多くの
犯罪被害者の方への
支援が可能になります。

「犯罪被害者にとっては裁判が終
わりじゃない。そこから長い人
生を喪失のもとに生きていかな
ければならないんです」。

ひょうご被害者支援センターは犯
罪等の被害者やそのご家族を支
援する民間の団体。講座や研修を受
けた一般の方々が相談員となり、
電話や面接での相談や、時には裁
判所への付き添いなどで支援して
います。『やってあげてる』なん
て誰一人思っていないんです。ま
しでや感謝を求めてやっているわ
けでもない。その方が自分の力で
立てるように、ちょっとだけ道筋を
つけるお手伝いをさせていた
く、という気持ちです」と相談員
の一人。「被害者の方で『センター
の人や警察や弁護士、みんなが話
を聞いてくれて、信じてくれて、
支えてくれたから、これから生き
ていけます』って言われた方がい
て。それは強い言葉だと思いまし
た。長い人生のほんとどこピンポイ
ントの支援かもしれないですが、
ちょっとでも支援できたら、って
思っています」。

兵庫県では犯罪被害者支援を応援
するため、ふるさとひょうご寄附
金を活用して、相談員の活動費用
などを支援しています。

ふるさとひょうご寄附金については
「こちらをご覧ください」。



兵庫県のこんな取組みを応援ください。